

演題「飯南に地域とともに『愛でる』学校を創る」

～ コミュニティ・スクールは地域が誇る「地域立学校」 ～



講師：小松 郁夫  
京都大学特任教授

8月26日（金）、当学校運営協議会の名誉顧問に就任されている小松郁夫先生をお迎えし、待ちに待った講演会を開催することが出来ました。

「地域とともに」、「学校を核とした地域づくり」、「子どもも大人も学び合い育ちあう」が求められている今・・・。

「学校づくり」と「まちづくり」の融合により、地域が誇る「地域立学校」であるコミュニティ・スクールで、地域全体で未来を担う子ども達の成長を支えていく・・・。

飯南地域にしかない独自の『学びの環境』を実現し、飯南地域が誇る「地域立学校」を目指していきたく感じました。

コロナで2年延期されていて、ようやく実現した小松先生の貴重な講演会に、コロナ禍で制限をしつつも約140人もの方々が参加していただきました。

たくさんのご参加、ありがとうございました。



いいなんコミュニティ・スクール便り

～学校と地域が力を合わせて子どもを育てよう！～



令和4年10月  
飯南中学校区  
学校運営協議会

【飯南中学校区のめざす子ども像】

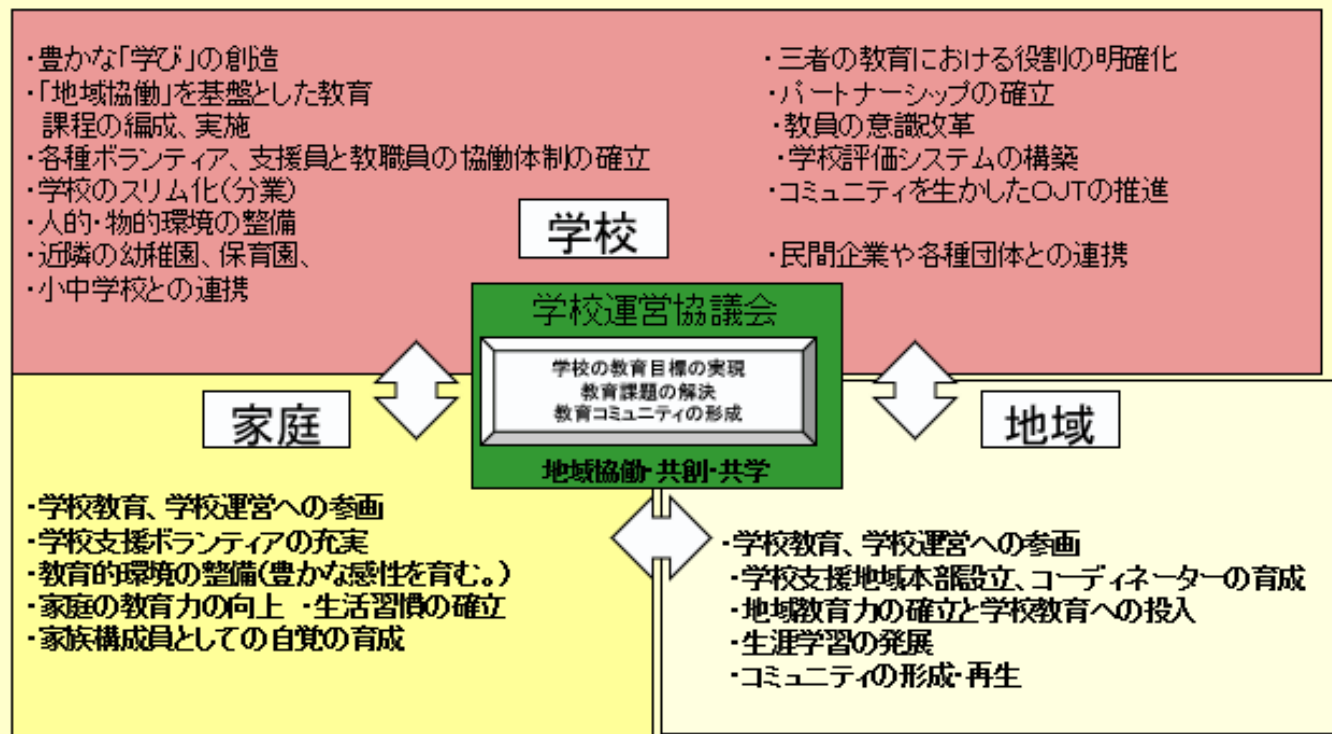
ふるさとを誇らしく語り 受け継ぎ 未来を担う志と力を持った子ども

学校運営協議会会長 中野 孝是

平素から子ども達のため、何かと活動支援いただいておりますこと、学校運営協議会を代表して厚く御礼申し上げます。学校、家庭、そして地域の代表が集まり、より良い子ども達の教育の進め方について一緒に考え話し合う会、学校運営協議会を2年前に立ち上げました。この会を組織している学校がコミュニティ・スクールであります。この地域は、柿野・粥見両小学校を含めた、飯南中学校区学校運営協議会として、松阪市内初の取り組みとなっております。この2年間、コロナ禍に見舞われ、会議を重ねる度に悔しい思いをしてまいりましたが、昨年度の半ば頃から、『めぐるこめぐる（愛でる子芽出る）』を合言葉に、活動サポーターの募集や挨拶運動の推進とその動画を学校ホームページに掲載しております。今年度からは、三重県教育委員会の指定を受け、地域探究活動を開始された中学校に、9人の地域の産業・文化に精通した地域住民がゲストティーチャーとして、活動支援をしていただいております。4月からは、飯南高校もコミュニティ・スクールを立ち上げられました。まさにこの飯南地域は、小・中・高校での取り組みとなりました。このことから、小さい地域だからこそまとまれる強みを生かし、いろいろな経験を持つ私達が地域の宝である子ども達に関わっていくことは、コミュニティ・スクールの目的である「地域とともにある学校づくり」に、そして地域の発展と将来につながるものと確信いたしております。ぜひ、この機会を得て一層、学校活動支援の輪を広げていただくことをお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

新しい学校運営の創造

～パートナーシップの理念に立って～



都道府県・市区町村教育委員会、生涯学習課など行政部局との連携

【8月26日講演会資料より】

CS「あいさつ部会」街頭活動

※CS=コミュニティ・スクール

CS「あいさつ部会」で、街頭活動を行っています。この取組は、飯南地域で特徴的な「ただいま、おかえり」のあいさつを再認識することで、あいさつの大切さを再認識してもらい、児童、生徒との自発的、積極的なあいさつにつながると考えています。そして、児童、生徒との信頼関係を築き、地域が子どもたちを大切に想っていることを伝えていく。信頼関係を築くことによって、防犯にもつながると考えています。

笑顔いっぱいの「ただいま、おかえり」！



【あいさつ動画】



令和4年度学校運営協議会委員名簿

会長	中野 孝是	住民自治協議会
副会長	水谷 豊子	地域住民
	山本 哲司	地域住民
	谷口 一弥	地域住民
	青木 新二	地域住民
	大久保寿洋	地域住民
	中西 且弥	地域住民
	院上 大輔	粥見小PTA 代表
	下出 祐司	柿野小PTA 代表
	阪口 文則	飯南中PTA 代表
	森井 義和	飯南中校長
	油谷 雅司	粥見小校長
	日口 佳代	柿野小校長
	三〇 英則	飯南中教頭
	東 風香	飯南中教職員
事務局	田端 教恵	飯南中教職員
コーディネーター	芝山 由佳	

## 飯南中学校



### 【学校教育目標】

『ふるさとを誇らしく語り、受け継ぎ、未来を担う志と力を持った生徒の育成』

【いきるちから】

～ 仲間と共に 夢へ挑戦！～

飯南中学校校長 森井 義和

これからの社会に求められている力とは、どんなに変化し予測困難な時代になっても、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、仲間とともにそれぞれの思い描く夢や希望を実現させていく力」である。その力をつけるために飯南中では、「あしやまタイム」探究活動を行っています。子どもたちは、地域を課題として探究していくことで、地域とつながり、ふるさとを愛し、飯南を誇れる子どもを育てることにつながると考えます。

これから子どもたちは、「仲間と共に夢へ挑戦！」しながら活動していきます。どうか子どもたちの活動を温かく見守り、支えていただきますよう、ご支援・ご協力をお願いします。



### — 地域の皆さまにご協力いただいた活動（令和4年度前半） —

#### あしやまタイム地域の方と語る会

#### あしやまタイム



地域の方と語る会のあと、1年生から3年生が一緒になり8グループに分かれて探究活動を開始しました。地域の方に来ていただき話を聞くグループ、実際にしいたけ料理を作って実験するグループなどの活動をしています。CSにも参加していただき、一緒に探究活動、生徒の様子をみていただいています。

地域の方9人に来ていただき「飯南地域の魅力」を3年生に話をさせていただきました。話は、お茶・松阪牛・棚田・深野和紙・しいたけ・伊勢本街道・粥見信貴山・てんてん・林業についてでした。そして、自分たちの興味・関心に基づき縦割りの班で、協働学習を繰り返しながら探究活動を進めていきます。



#### 生徒考案オリジナル商品販売

飯南中学校生徒会を中心にして、「地域を明るく元気にしたい」などの思いを込めて、手袋を作りました。飯南地域が手袋でつながりが深まってほしいです。また、飯南高校・飯南中学校・飯南中学校の3校でつながるちからタオルを制作しました。3校の生徒がデザインしたオリジナルです。CSの協力で制作できました。



【いきるちから手袋】



【つながるちからタオル】

中高生が協力して制作した

いきるちから手袋、つながるちからタオルなどをCSの協力により茶倉駅で発売開始しました！

地域の皆さま、ご協力ありがとうございます！！

## 粥見小学校



### 【学校教育目標】

『豊かな体験活動を通し 自ら気づき認め学ぶ 子どもの育成』

粥見小学校校長 油谷 雅司

本校では児童に今後の社会を生き抜いていくために必要な資質・能力を育成するため、教育内容を教科横断的な視点で組み立て、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善に取り組んでいます。特に授業では昨年度より『ききあう活動』とICTの活用において取り組みを進めています。それとともに校区の豊かな自然や歴史、文化、産業等の学びを介して夢を育み未来を切り拓く力を育成するようにも取り組んでいます。どちらの活動もその充実には、飯南中学校区コミュニティ・スクールを中心とした学校・家庭・地域が一体となったの取組がかかせません。今後とも本校の取組について、皆様のご支援、ご協力よろしくお願いたします。



## 柿野小学校



### 【学校教育目標】

『主体的に学び、共に磨き合い行動する子どもの育成』

柿野小学校校長 日口 佳代

IOT、人工知能、ビッグデータなどの先端技術を活用するこれからの時代を生きていく子どもたちには、人間ならではの能力の育成が大切であると考えます。そのための学びは「教えるのではなく考えさせる」「調べ学習ではなく探究活動」だと言われています。ある課題に対してどんな意見を持ち、何を考え、どう生かすかという深い学びと、人間ならではの感性を育むため、学校、家庭と地域が手を携えて子どもたちを支援し、見守っていきたくと思います。

小学校同士の横のつながり、小学校と中学校の縦のつながりも重視し、連携した活動も展開していきます。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



活動サポーターさんと共に校外学習  
横野地区へ



深野地区の田んぼで

問い合わせ先 飯南中学校 ☎32-2010 粥見小学校 ☎32-2232 柿野小学校 ☎32-2032